

「自叙伝に学ぶ、永遠の人生—靈魂と靈界」



私たちはどんなに長く生きていっても必ず迎えていくのが“死”であります。一般的には人が死ぬことは、永遠の眠りにつくと言われていて、しかし宗教者は、人間は靈魂をもって永遠に生きるとも言われています。文先生は“死”というものをどのように考えておられるでしょうか。一般的には“死”は亡くなると考えていますが、文先生は“来たところに帰る”と表現されています。

天国に行くか地獄に行くかは自分の人生によって決まっていきます。靈界は実存し、死は靈界の出発であります。人生は、神様やサタンが私たちの人生を精査して靈界の層を決めるのではなく、生前中の自分の人生の結果が靈層を決めていきます。良心の通りに愛ある人生を生きれば豊かな所に行き、良心に引っ掛かる影のある人生を歩めば悪い所に行きます。文先生は“良心に引っ掛からない影のない人生を生きなさい”と言われていています。

靈界天国は全てが揃っていると言われていています。靈界天国に行くと考えれば、地上のものに執着する必要はありません。私たちが生活している以上に、もっと良い世界があるのです。靈界天国で豊かな生活をしていく為にお金に換わるものが、真の愛です。愛の豊かさが靈界の豊かさを決定していくのです。その真の愛はどこで築くでしょうか。それは神様から祝福された家庭であります。真の家庭なくしては靈界天国に出発することができません。私たちの人生の目的は家庭にあります。家庭を通して神様の愛が溢れ、神様と共に住むことのできる家庭を築くことで靈界天国が決定していくのです。家庭は、父母の愛を受けて真の愛を学ぶところです。文先生は、人類愛を学ぶ愛の学校が家庭であると言われていています。



本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、TMご来日巡回期間の特別精誠が行われています。
期間:2013年10月12日(土)～10月23日(水)
祈禱題目:TMとご家庭の安寧のために
5箇所の大大会の大勝利のために
- 3、10月度伝道三日路程が行われました。
10月8日(火)～10日(木) 全食口同参
結果:1位 京都、2位 伏見、3位 北都
- 4、祝福家庭カップルセミナー
日時:10月14日(月) 10:30～16:00 (10:00受付)
場所:京都・烟河
- 5、早朝聖地祈禱会
日時:10月15日(火) 5:00～ 場所:京都御所
- 6、日本文化講演会
日時:10月17日(木) 10:30～
場所:サン・アカデミー京都
- 7、京都教区祝福式
日時:10月20日(日) 14:00～ 場所:京都教会
- 8、京都を愛する書写の会
日時:10月24日(木) 10:30～ 場所:京都教会
- 9、2013年度 6000双近畿家庭会総会
日時:10月27日(日) 14:00～ 場所:大阪教会
- 10、京都セミナー(二日修練会)
日程:10月19日(土)・20日(日)、10月26日(土)・27日(日)
場所:サン・アカデミー京都
【1日目】13:30～20:00 (13:00受付)
【2日目】10:00～16:00 (9:30受付)
- 11、しあわせ講演会
毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所:サン・アカデミー京都
- 12、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00～ 場所:京都教会
- 13、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会
日程:10/17(木)～10/22(火)、10/31(木)～11/5(火)
- 14、清平修練会
10/19(土)～10/21(月)、10/25(金)～10/28(月)
2013秋季清平特別大役事
10/25(金)～10/28(月)
万物の樹祈禱会、統一運動会、先祖祝福式、
追加先祖解怨式、所願成就祈禱会の恩恵 等

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神靈協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : <http://www.uckyoito.org/>

式次第



執礼者：武藤努教区長
司会者：浅平望

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	御父母様をお迎えする精誠の基台	
※讃 頌 聖歌 7 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

日本は誰によって福を受けたのですか？摂理歴史の中で、特に文化歴史においても、日本はエバの使命を果たさなければなりません。今、世の中でもそうではないですか。父親が外でお金を稼いでくれば、母親はそのお金でやりくりするでしょう。一族の面倒を見るでしょう。子女を教育するでしょう。女性の活動範囲は、男性よりも広いのです。そうではないですか。一族を復興させ、裕福な家にするのも嫁の使命です。良い嫁が入ってくれば、貧しかった家が裕福になるのですが、それは嫁が大きく環境創造をしたからです。大きいということは、それだけ消耗が必要だということです。消耗、努力、精誠、犠牲、ために生きる生活が必要なのです。

み言を実践してなすべき最も重要なことに対して、いつも「(それは)私の責任ではない」と、このように考える人が多くいます。しかし、それは間違った考えです。皆さんの中には、私の証しを聞いた人もいるでしょう。お父様に初めてお会いしたとき、私は、摂理歴史が分かり、蕩滅復帰摂理歴史も分かっていました。私が「原理」を学んでいたわけでもありません。それでも分かったのです。そして、私は決心しました。「お父様が再臨主として完成、完結することに成功なさるためには、私の力が絶対的に必要だ。私は誰にも(その責任を)負わせない。私自身がこれに責任を持つ。私が生きている限り、このみ言は発展し、成功し、サタンは退く(ようにする)」

皆さん！この話を聞いた皆さん！真のお母様は偉大ではないですか？祝福家庭の皆さんが現れるようになったのは、私が心と体をささげて犠牲になったからです。(「アーजू！」)

ですから、皆さんは、特に日本の食口の皆さんは、お母様を敬わなければなりません。誰よりもお母様を愛さなければなりません。そうしてこそ、皆さんは二重に福を受けるようになります。そうしてこそ、お父様と出会えるのです。分かりますか？(「はい」) このみ言、この「天一国經典」をもって、皆さんが日本の復帰に最善を尽くして頂くことを願います。

統一運動

大阪で朴普熙総裁をお迎えして講演会

9月28日に大阪国際会議場に朴普熙総裁をお迎えして、「文鮮明総裁の生涯と新しい日韓関係」をテーマとした講演会(主催:朴普熙博士関西講演会2013実行委員会、UPF-Japan)が開催され、大成功を収めました。

初めに主催者を代表して、徳野英治会長が挨拶し、「朴総裁以上に文鮮明総裁の生涯を証しできる人物はいない」と紹介しました。宋龍天総会長は「歓迎の辞」を担当しましたが、「現在の韓日関係は大変冷え込んでおり、それは北東アジアの平和と安定、韓半島の南北統一にとって好ましい状況ではないため、今日の講演会は、共存と共栄を土台とした新しい韓日関係を模索していく上で誠に時宜を得たものである」と語りました。

朴総裁の講演の内容は、プレーザー委員会との戦い、レーガン大統領当選の背景、ワシントン・タイムズの創刊、SDI構想の支援など、米国における活動を中心に、冷戦終結の立役者であるお父様の業績を証した内容に続いて、ゴルバチョフ大統領、金日成主席との会談に至るまで、お父様の側近として共に歩まれた朴総裁でなければ語りえない「歴史の秘話」でありました。

最後に日韓関係の問題に触れられ、自ら日本民族に対する尊敬と愛を吐露することによって模範を示しつつ、両国が互いの弱みを探し出して攻撃することに力を費やすのではなく、相互により部分を見つけだし、賞賛し、協調しあうべきであると訴えました。朴総裁のメッセージはお父様の真の愛の精神に基づいて日韓関係の修復を訴えるものであり、聴衆の心を打ちました。

